

社会福祉法人 立正たちばな会

認定こども園 川西保育園

施設関係者評価・自己評価

記録者氏名 認定こども園 川西保育園

〔記入方法〕

A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

項目	内容	施設関係者評価				2021年度(令和3年度)自己評価				意見・改善策
		評価				評価				
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育目標・保育方針	①園の保育目標や保育方針は、分かりやすい。	○				○				理念が分かりやすく会議前に声を出すことで意識できている。 職員会議でテーマを皆で決める機会があり、その都度変化して良いと思う。 毎年見直しをしていて幼児にあったものに話し合い(会議)を行っている。
	②園の保育目標が、子ども達の中で生きている。		○				○			
	③園の保育目標や方針について、園長や他の保育教諭と話す機会がある。	○				○				
	④保育方針は、その時々幼児に合ったものになるように定期的に見直されている。		○				○			
	⑤園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	○				○				
保育計画	①園の保育計画は、教育目標を生かして作られている。		○				○			保育計画は活動内容に応じて変えている。 昨年のもを見返し年度が始まる前に作り直している。
	②子ども達の年齢ごとの保育計画がある。	○				○				
	③園の保育計画は、園長と保育教諭が話し合いながら作られている。		○				○			
	④園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	○				○				
	⑤園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	○				○				
保育環境	①保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている。		○				○			それぞれの部屋ごとの環境整備は異なっているためしっかり声を出していかないと、と反省した。 環境を整えるよう常に気にしておくようにしたい。
	②室内の温度・湿度・換気・照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	○				○				
	③安心できる人的・物的環境をつくり、「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。		○				○			
	④屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	○				○				
	⑤年齢の異なる園児が、触れ合うような環境構成をしている。	○				○				

項目	内容	評価				評価				意見・改善策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・方法	①全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	○				○				活動中は子ども達に応じて言葉がけをするようにした。
	②園児にわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話をしている。		○				○			
	③基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。		○				○			
	④身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育み考慮をしている。		○				○			
	⑤園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	○				○				
食育	①いろいろな味に親しみ、喜んで食事が出来るようにした。	○				○				子ども自らが苦手なものを食べられるような言葉がけを工夫しているが他の職員の様子も知りながら常に工夫したい。 コロナ禍で子ども達と同じ机で食べることができていないので、そばでマナーを伝えたり楽しい食事が早く出来たら良い。
	②食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	○				○				
	③食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境ができていた。	○				○				
	④栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫ができた。	○				○				
保育教諭の役割・質向上	①ひとり一人の園児をよく観察するように心がけている。		○				○			いつも子どもの立場に立った考え方をするように職員間で研修などをおこなっている。 研修内容は職員メールにて共有されるようになっており知ることができる。 ノートを活用したり少しでも時間を見つけ職員間で子どもの話をするように心掛けた。
	②全ての園児に、平等に接するように心がけている。	○				○				
	③その場にふさわしい言葉遣いができる。		○				○			
	④研修に行った保育教諭の研修内容は、全員に紹介される。	○				○				
	⑤園児のモデルとなれるように気を付けている。	○				○				
	⑥保護者との信頼関係が出来ている。		○				○			
子育て支援	①園児の送迎時に、園児の様子を保護者に伝えている。		○				○			行事の形を変えて行い、保護者の方が観覧できる機会をつくった。 コロナ禍で保護者が参加する行事が難しかった。日記のアップをして日々の保育の発信ができたらよかった。
	②保護者の子育てについての相談にのっている。	○					○			
	③子育て支援の内容について、全員で話し合いをしている。		○				○			
	④子育て講演、情報提供を行っている。		○				○			
	⑤保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	○					○			
地域住民や関係機関との連携	①地域の人々と、親しく挨拶ができる。	○					○			お散歩などで出会ったときしっかりあいさつをする。 コロナ禍によりずいぶん減ってきているが、地域の中で生かされている保育園として交流をもつように心掛けている。
	②地域の方は、園のことに興味を持ち、園の方針を理解している。	○					○			
	③地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。		○				○			
	④地域の人との交流を大切にしている。	○					○			

項目	内 容	評 価				評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
運営管理	①園内で知り得た事柄について、守秘義務を徹底している。	○				○				<p>コミュニケーションがしっかりとれるように常にチームワークを大切に話し合いの時間をもっている。</p> <p>こまめにドアや手すりなどを消毒するようにした。</p> <p>職員室の壁に警察署と消防署の連絡先があるが、医療機関などは明示されていないため、分かりやすい場所にあるといい。</p>
	②園長や主幹保育教諭・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	○					○			
	③保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	○				○				
	④園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	○					○			
	⑤事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。	○					○			
	⑥緊急時のために、医療機関等の連絡先が明示されている。	○				○				